



赤十字とあなたをむすぶ 日赤広報

日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

赤十字 石川

平成25年度



赤十字の活動は
皆さまの支えで成り立っています

人間を救うのは、人間だ。 Our world. Your move.

日本赤十字社は、世界 188 の国と地域で構成される国際赤十字の一員として、「人道」を基本理念に、人々の健康で安全な暮らしを守るために幅広い活動を行っています。

東日本大震災をはじめ、国内においては災害時の救護救援活動、医療、血液事業、救急法などの講習普及事業、ボランティアの育成など、また海外においては紛争や自然災害に苦しむ人々の救援を行っています。

これらの活動に必要な資金は、すべて皆さまから寄せられる善意（社費・寄付金）によって支えられています。

今年度も充実した活動を行うため、赤十字事業にご理解いただき、皆さまのご協力をお願いいたします。

活動資金にご協力をお願いいたします。5月は赤十字運動月間です。

<http://www.ishikawa.jrc.or.jp>

日本赤十字社石川県支部

検索

赤十字の活動は一人ひとりの やさしさに支えられています

日本赤十字社石川県支部の活動

災害救護活動

救護活動は、赤十字の最も重要な使命です。

東日本大震災の被災地での活動なども踏まえ、災害救護体制のさらなる整備・充実に努めています。

今年度は、石川県や金沢市、日赤第3（東海・北陸）ブロックなどの防災訓練への参加に加え、新たに、災害救護実施対策本部運用（図上）訓練を実施します。



日本赤十字社第3ブロック合同災害救護訓練



かほく市赤十字奉仕団防災訓練

赤十字ボランティア

赤十字の事業や活動はボランティアにより支えられています。

地域に根付いた活動をする「地域赤十字奉仕団」、特定の技能を生かした「特殊赤十字奉仕団」などが、赤十字ボランティアとして活躍しています。

今年度は、「東海地震」「東南海・南海地震」などへの対応計画を検討するとともに、「防災ボランティア・シンポジウム」を開催し、ボランティア活動のさらなる促進を図ります。

社員と活動資金について

●赤十字社員

日本赤十字社の「社員」とは、赤十字の人道的な活動に賛同し、毎年500円以上の資金協力をしていただく方のことです。個人・法人を問わず、どなたでも社員になることができます。

●赤十字活動資金

日本赤十字社の活動は、社員の方々からいただく資金（社費）と、一般の方々からの寄付によって成り立っています。

●税制上の優遇措置があります

日本赤十字社にご寄付いただいた活動資金は、個人の所得税や相続税、企業等の法人税での優遇措置が受けられます。

●故人の思いを赤十字へ

日本赤十字社は「故人の遺産を社会のために寄付したい」「自分で築いた財産を寄付したい」という尊いご意思に応えるために、遺贈による寄付、相続財産の寄付を受け付けています。

救急法などの講習

緊急時の手当てや、日常生活での事故予防に役立つ知識・技術の普及に努めています。

健康で安全な生活を送るため、「救急法」、「幼児安全法」、「健康生活支援講習」など、様々な講習会を県内各地で開催しています。

皆さまの受講をお待ちしています。

(詳しくは裏面をご覧ください)



「子育て支援メッセ」で一次救命処置の普及



ウガンダ母子支援事業
出産に必要なものが詰まった「ママバッグ」を配布

国際活動

- 日本赤十字社では、赤十字の世界的ネットワークを活かし、被災者への医療や衣食住の支援、被災地の復興支援や防災を通じた地域の基盤づくりなど、包括的な災害マネジメントに取り組んでいます。
- 石川県支部では、東海・北陸の各県支部と協力し、ベトナム災害対策支援事業、モンゴル青少年教育事業などを行っています。

青少年赤十字(JRC)

小学校、中学校、高等学校など、学校教育の現場で、「健康・安全」「奉仕」「国際理解・親善」を実践目標として、子どもたちが自分で「気づき、考え、実行する」力を育てています。

県内では、95校、約1万4千人の子どもたちが、募金や国際交流、救急法の取得などの活動を行っています。



JRC 加盟校にて 海外たすけあい街頭募金

【表彰制度】

		個人	法人
特別社員	毎年2千円以上で累計2万円以上または一時に2万円以上の社費	称号付与通知書・門標	
銀色有功章	一時または累計で20万円以上の社費・寄付金	有功章(楕型)・門標	
金色有功章	一時または累計で50万円以上の社費・寄付金	有功章・章記・門標	
社長感謝状	金色有功章受賞後、一時または累計で50万円	感謝状	
銀色有功章	一時または累計で20万円以上の社費・寄付金	有功章(楕型)	
金色有功章	一時または累計で50万円以上の社費・寄付金	有功章(楕型)	
社長感謝状	金色有功章受賞後、一時または累計で50万円	感謝状	

支部長感謝状	個人・法人/100万円以上
厚生労働大臣感謝状	個人/100万円以上500万円未満 法人・団体/300万円以上1,000万円未満
紺綬褒章(団体は褒状)	個人/500万円以上 法人・団体/1,000万円以上

東日本大震災義援金をはじめ、国内義援金、海外救援金を随時募集しております。

引き続きご協力をお願いいたします。

なお、お寄せいただいた義援金は、自治体を通じて全額が被災された方々のお手元に届けられます。(赤十字の活動資金として使われることはありません)

医療事業

金沢赤十字病院は、地域に根ざした病院として地域医療の充実に努め、災害拠点病院として災害時に医療救護班を派遣するなど、赤十字の使命も果たしています。

まもなく新病棟完成



全体完成予想図(平成26年秋)

当院は、昨年4月から新病棟などの建築工事を始めており、まもなく新病棟が完成します。その後、既存棟の改修などを進め、来年秋ごろに、全体がリニューアルされる予定です。

工事期間中は、駐車場や出入口の変更など、皆さまに大変ご迷惑をおかけしておりますが、ご理解とご協力の程よろしくお願ひ申し上げます。

新病棟完成時期 平成 25 年 5 月下旬(予定)

診療のご案内 工事期間中も通常通りの診療を行います

金沢赤十字病院 〒921-8162 金沢市三馬2丁目251番地
TEL 076-242-8131(代)
<http://www.kanazawa-rc-hosp.jp>

血液事業

石川県赤十字血液センターでは、輸血を受けられる患者さんに安全性の高い輸血用血液を、安定的にお届けできるよう努めています。



40分で助かる命がある

少しの時間と少しの勇気が、どこかの誰かを救うこととなります。

東海北陸7県
「献血推進啓発ポスターデザインコンペ」

地域賞 松本沙弥香さん(29)の作品

献血基準の主なもの

		200ml献血	400ml献血	血小板成分献血	血漿成分献血
年齢	男	16~69歳	17~69歳	18~69歳	18~69歳
	女	16~69歳	18~69歳	18~54歳	18~69歳
体重	男	45kg以上	50kg以上	45kg以上	45kg以上
	女	40kg以上	40kg以上	40kg以上	40kg以上

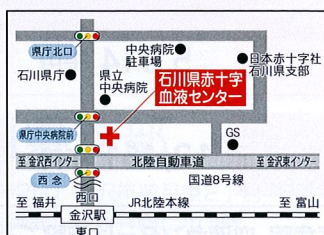
※65歳以上の献血については、献血される方の健康を考え、60~64歳の間に献血経験のある方に限ります。

輸血を受ける患者さんにとって身体の影響も少なく、副作用も軽減される**400ml 献血、成分献血**にご協力をお願いします。

下記の常設会場で受け付けています。 ※このほか、献血バスが県内の各市町を巡回しています。

県庁前 石川県赤十字血液センター

〒920-8201
金沢市鞍月東1丁目1番地
(石川県庁前)
TEL 076-237-5533
<http://www.ishikawa.bc.jrc.or.jp>



定休日 日曜日・祝日

受付時間 ●200mL・400mL 献血 8:30~12:00 / 13:00~17:00
●成分献血 8:30~11:00 / 13:00~16:00

片町 献血ルーム「ラブロ」

〒920-0981
金沢市片町2丁目2番5号
(ラブロ片町5階)
TEL 076-220-1655



定休日 土曜日(祝日の場合開設)

受付時間 ●200mL・400mL 献血 10:00~12:30 / 13:20~18:00
●成分献血 10:00~11:30 / 13:20~17:15

県民のみなさまへ

県民の皆様には、日頃から赤十字事業に対し格別のご支援を賜り、心から感謝申し上げます。

日本赤十字社は、いつ、いかなる時も災害に備え、一刻を争う国内外の災害時の救護をはじめ、病気で苦しむ人のサポートなど幅広い活動を行っています。

石川県支部といたしましても、国内外における自然災害や紛争に苦しむ人々への救護救援活動、開発途上国への開発援助活動、国内においては、更に、医療、血液事業、講習普及事業など、健康で安全な暮らしを守るための活動を展開しています。

今後とも、災害に備えた日頃の準備を進めておく必要があり、現在、防災訓練の実施、資器材や装備の充実など、災害救護体制のさらなる強化に努めているところです。

これらの赤十字活動を行っていくためには、一人でも多くの方々のご支援、ご協力が必要です。

何卒、赤十字の趣旨、活動の目的をご理解いただきまして、温かいお力添えを賜りますようお願い申し上げます。



日本赤十字社石川県支部長

谷本 正憲

平成25年度予算

収入

社費・寄付金…… 169,000 千円
その他の収入…… 35,546 千円

収入合計 204,546 千円

支出

災害救護救援活動に ●被災者の救護及び災害救護訓練費 ●災害救護用装備費 ●救護員(看護師)養成費	72,874 千円	36%
救急法などの普及・赤十字ボランティア育成・青少年赤十字活動に ●救急法などの講習会開催費 ●赤十字ボランティアの育成と活動費 ●青少年赤十字の育成と活動費	35,406 千円	18%
国際活動・赤十字の全国事業に ●国際赤十字と連携して行う災害救援活動費	26,494 千円	13%
市町の赤十字活動・奉仕団の活動に ●地域赤十字奉仕団の活動費 ●市町における社資募集・赤十字活動費	25,700 千円	13%
赤十字思想の普及と社員の増強に ●社資募集、広報資材作成・配布などの広報活動費 ●社資功労表彰経費	22,767 千円	11%
医療・血液事業の推進に ●金沢赤十字病院、石川県赤十字血液センター業務の指導普及費	5,844 千円	3%
支部の業務運営に ●業務運営の経費 ●施設など維持管理諸費	12,461 千円	6%

支出合計 201,546 千円

※ほかに、予備費 3,000 千円計上

赤十字病院、血液センターは施設ごとの特別会計になっており、この予算には含まれていません。

みなさまのあたたかい
ご協力に感謝いたします。